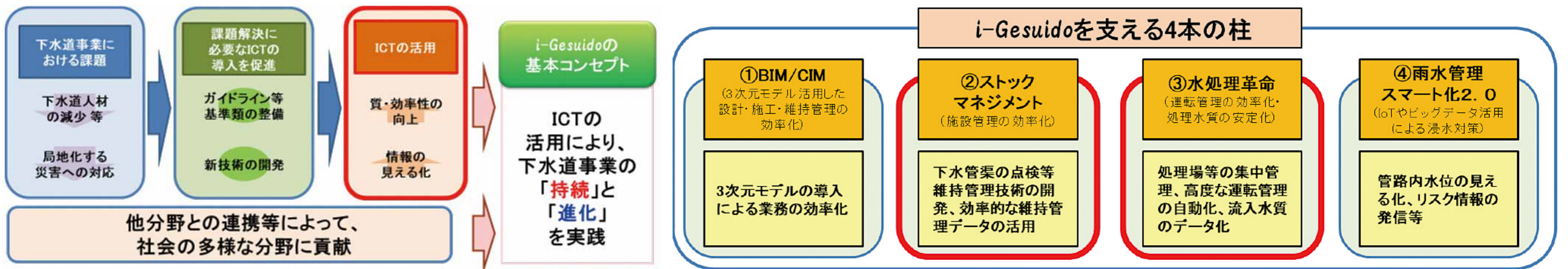


下水管路内のリアルタイム状態監視システム

水位、流量、温度、水質（電気伝導度、濁度）のリアルタイムモニタリングシステム

管きよ内の水位、流量、温度、水質をリアルタイムで監視するシステムで、管きよや処理場の制御・運転最適化などに利用可能。非接触・リモート型の維持管理へ転換可能。



※図は国土交通省下水道部HP「ICTの活用」より引用

 本技術が利用できる領域

下水道施設の状況を踏まえた設置が可能！

既存の下水道施設のうち、重要かつ継続的にモニタリングすべき箇所へ「常設型」の通信設備、一時的にモニタリングすべき箇所へ「仮設型」の通信設備を設置することで、非接触・リモート型の汚水管理・雨水管理が実現可能となります。ご要望に応じて、様々な形でのシステム導入が可能です。

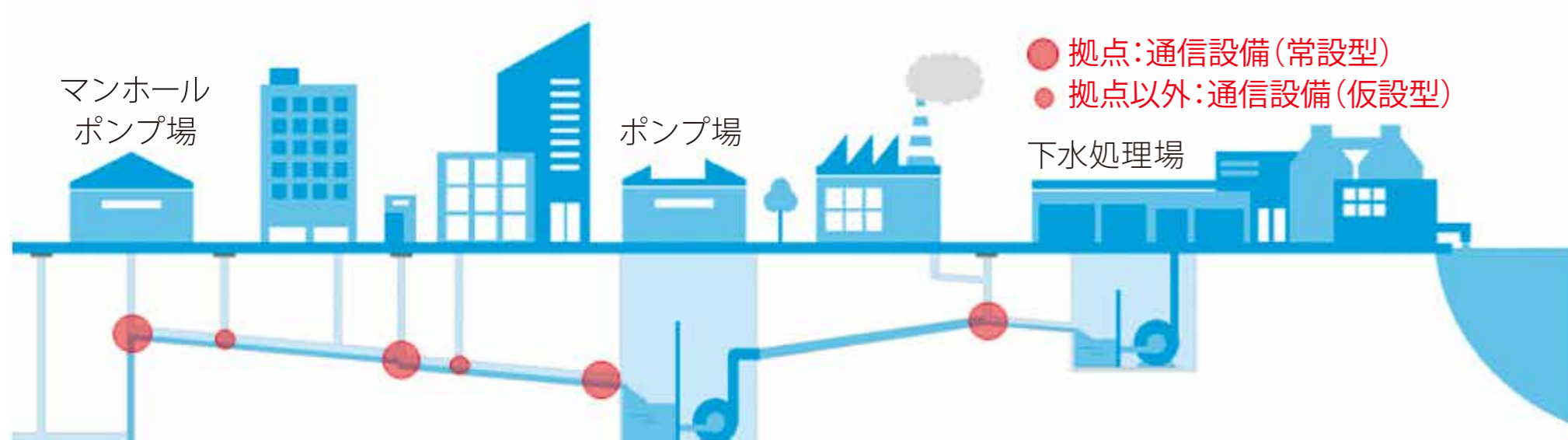
管路リアルタイム状態監視システム

汚水管理

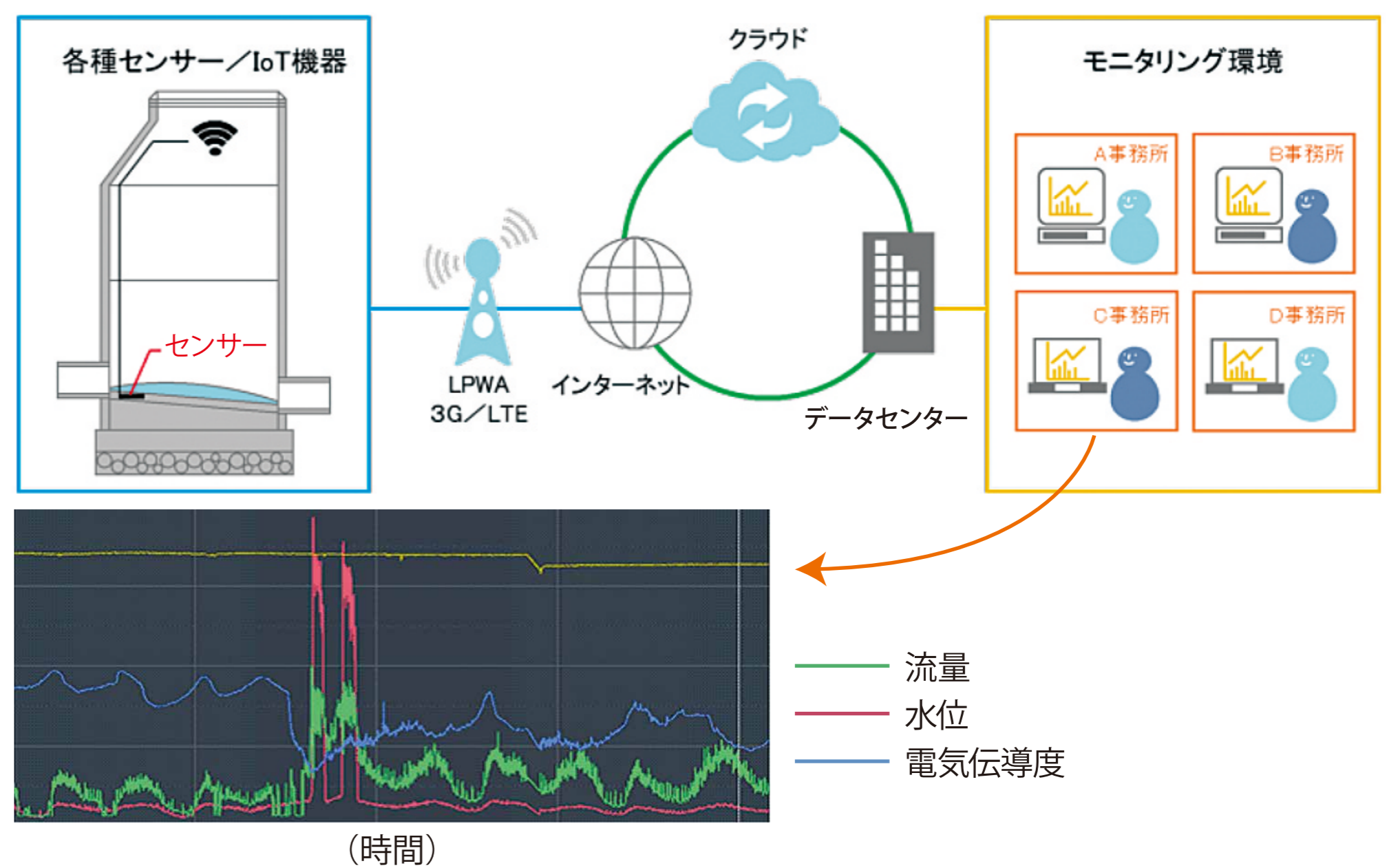
- 下水道施設の広域連携
- 事業所等の違法排水の特定
- 詰まり、不明水の特定

雨水管理

- 地下街への水位情報周知
- 雨水ゲートの監視・制御
- 水防活動の迅速化



管きよ内の状態がリアルタイムで監視ができる！



マンホール内にセンサー、通信設備及びバッテリーを設置し、事務所でリアルタイムの状態の監視を行うシステム

【監視項目（センサー）】※センサーはニーズにあわせて組合せ可能

流量、水位、水温、電気伝導度（塩分濃度）、濁度など

【電源】バッテリー

【通信設備】

拠点：通信設備（常設型）／拠点以外：通信設備（仮設型）

状態監視技術を取り入れ、既存ストックを効率的に運用する取組を始めましょう。

下水道は、維持管理・ストックマネジメントの重要性が高まっており、既存のストックを効率的に活用して下水道の困った問題（課題）を最適化することに重点が移ってきています。管路リアルタイム状態監視システムを用いることで、人が現場に行くことなくリアルタイムで管きよの状態を監視・制御し、既存ストックを効率的に運用することができます。

管路も、リアルタイムで監視・制御できる未来を実現します。

眠らない街、眠らない下水道を、24時間見守ります。

